



IZMIR UNIVERSITY OF ECONOMICS



YUZUNE KITAGAWA

SELF INTRODUCTION

はじめまして。
トルコのイズミル経済大学に在学で約9か月間留学予定の、国際文化学科2年北川柚音と申します。
私はトルコやイスラームの文化に興味があったこと、留学費用の安さから、この大学で留学することに決めました。この報告書を通して、トルコの留學生活のリアルをお届けできればと思います。



PACKING



日本からトルコへの国際郵便には禁制品が多くあることを知らなかったため、渡航の際自分で持っていかなくても後で母に送ってもらえばいいや~と思っていたものが送ってもらえないという事態に陥っています。なのでパッキングの際に入れておいた方がいいものを記します！

～禁制品～

- 液体（コンタクト、調味料など）、化粧品、お茶、刃物、医薬品、塩コショウ など**
- ・トルコの化粧落としは水クレンジングが主流なのでオイルorミルクタイプを使いたい人は持っていくと良い。化粧水、乳液は保湿力低めなので気になる人は日本のものを持って行くこと
 - ・トルコは紅茶しか売ってないので緑茶や麦茶を飲みたい人は持っていくべし
 - ・ハサミはトルコでも買えるが、電動カミソリやシェーバーは日本製の方が品質が良い
 - ・イズミルのスーパーに醤油、みりん、酢は売っているが、だし、料理酒、わさびなどの調味料はない

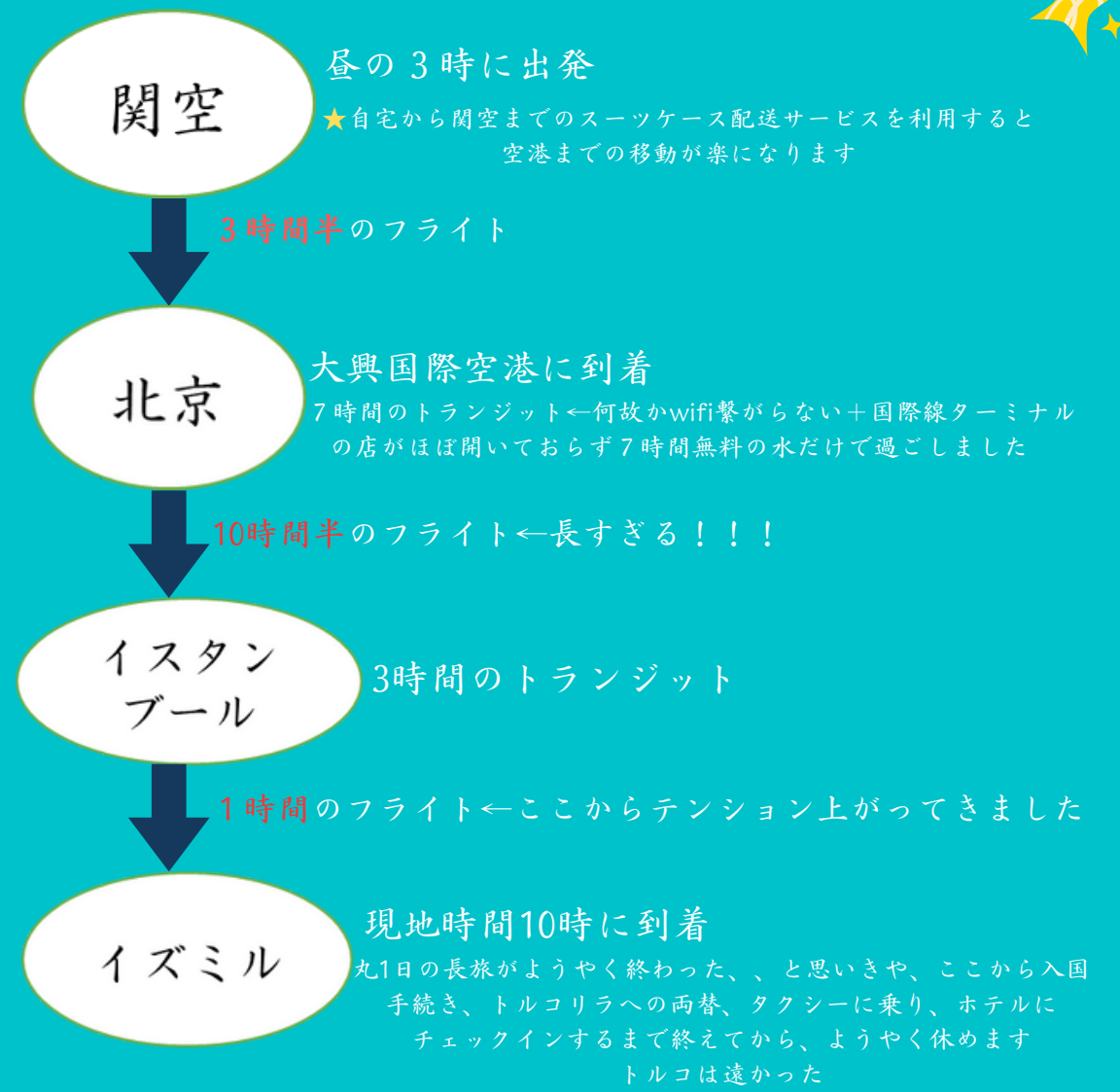
～禁制品ではないが持って行った方がよいもの～

- ・米（日本産の米は高い。日本のより硬くて細長い米は安く売っているがやはり日本の米がおいしい）
- ・タンポン（アプリーケーターがないタイプしか売っていないため。ナプキンは日本のものに比べると吸収力が低いがそこまで変わらないので持っていかなくても大丈夫）
- ・日本食（日本のお菓子は恋しくならないがやはりうどんやお茶漬けが恋しくなる。）

FLIGHT



日本からイズミルへの直行便はないため、イスタンブールで乗り継ぐ必要があります。日本からイスタンブールへの便は直行便だと10万円以上するのですが、私は渡航費用をとにかく安く抑えたかったため、一番安かった中国南方航空の北京経由5万円の便(2023年7月時点)を予約しました。しかし乗り継ぎ回数が増えたことで渡航時間とトランジットの時間が大幅に増え、関空からイズミルまでの渡航に丸一日かかりました。何度も便を乗り換えるのはほんとうに面倒で疲れますし、その間お風呂に入れられないのもつらいです。飛行機に乗り慣れている方はそこまで苦ではないかもしれませんが、私のように飛行機に乗った経験がほとんど無く、体力に自信のない方はイスタンブールまで直行便で行かれることを強くお勧めします笑
でも中国南方航空の機内食は美味しかったので食に関しては満足でした☺
あと私はスーツケースの重量を確認せずにチェックインしようとしたらかなりオーバーしていて、持っていきかけたものを泣く泣く置いていくはめになったので、事前にちゃんと量っておけばよかったと後悔しています。



APARTMENT



大学には学生寮があるため、今回文芸大から留学する3人とも寮に入るつもりでした。そのためトルコに来る何か月も前に入寮したい旨をメールで伝えておいてあったのですが、私がトルコに来る20日前に今期は入寮を希望する生徒が多いため、あなた達を入寮させることはできないという内容のメールが届きました。そこから急いでトルコでアパートを借りるにはどうすればよいかを調べインターネットで家探しをしたのですが、間に合わず、結局1か月間は3人でホテル暮らしをするはめになりました。ホテル暮らしをしながらfacebookやsahibindenという部屋探しアプリを使って部屋を探し、内見に行くという日々を過ごしました。結果、良いアパートを見つけることができましたが、トルコは今超インフレ状態で家賃が高騰しているため、寮に住めれば月3万で住んだところをアパートだと月5万払わなければならない状況です。このように大学からの通知や対応がとても遅く履修の際も大変な目に合いましたが、それはまた今度書こうと思います。家探しは大変でしたが、ある意味いい経験になったし、今とても素敵な部屋に住むことができているので結果オーライです。



↑リビングルーム★

WHAT IS IZMIR LIKE?



イズミルはエーゲ海に面し、トルコ西部に位置する国内で人口が3番目に多い都市です。ギリシャに支配されていた歴史を持つことからギリシャ系の住民も多く、自由で賑やかな雰囲気があります。四季はあるものの日本よりも温暖で雨があまり降らないため、過ごしやすい気候となっています。人気なビーチ・リゾート地や古代遺跡が周辺にある一方で、中心地に行くとビルが立ち並びショッピングを楽しむこともできます。ネットでイズミルについて沢山調べてから来ましたが、想像よりもずっと都会でどこも賑わっていることに驚きました。また電車、バス、メトロ、フェリーなど公共交通機関が発達しているのでイズミル中のいろんな場所を気軽に観光できます(どの公共交通機関もいつも激混みでバスに関してはいつも押しつぶされそうになります笑)。今回はイズミルの主要な観光地を紹介します。



① çeşme

透き通った青い海と白い砂浜のビーチがある、ゆったりと過ごせるリゾート地です。イズミルの中心地からは離れていますが、大学の最寄駅から出ている長距離バスを利用すれば片道一時間140リラ(現時点日本円で740円ぐらい)で行けます。私はイズミルに来たのが9月下旬ということもありまだ一度しか行っていませんが、とても素敵なおところだったのでまた来年の夏に泳ぎに行きたいです!



② balçova

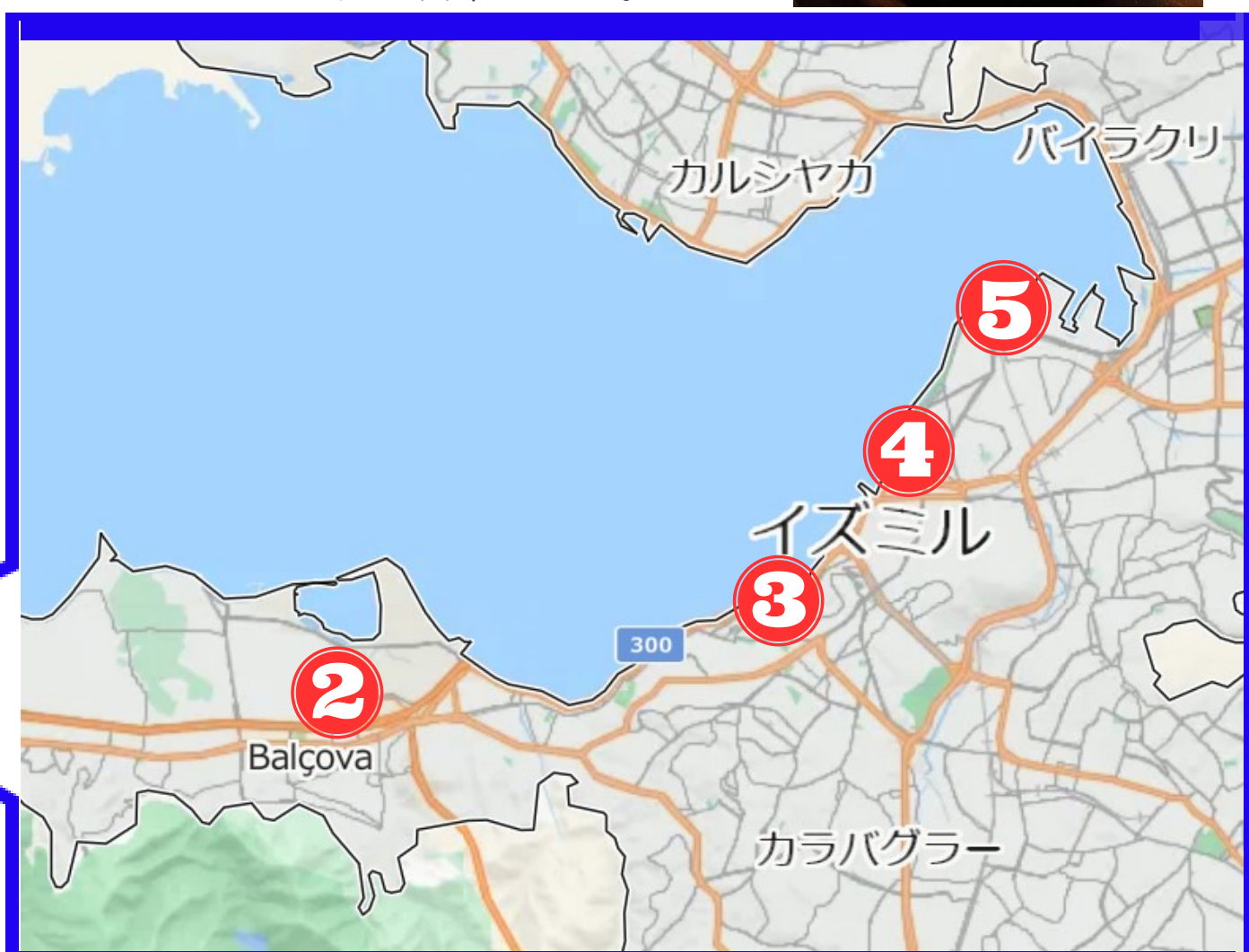
大学があるところです。大学が丘の上であり、その近くに住んでいるので、買い物に行くとなると坂を上り下りする必要があります。少し大変ですがいいトレーニングになります。balçova内に大きなショッピングモールが3つもあるので便利です。坂を下って海沿いに行くと、とても大きな公園があり、そこではランニングをしたり、バーベキューやピクニックを楽しむことができます。イズミルのスーパーに魚が置いてあることはあまりないのですが、ここに来ると魚がたべられるので(パンに焼いた魚を挟んだもの)幸せです。ボリュームでめっちゃくちゃ美味しいです。



公園 ←



魚パン ←



③ konak/asansör

海岸部から丘の中腹部までの行き来を容易にするために建てられた歴史的なエレベーター(asansör)があり、上までいくとイズミルの町を一望できます。周辺にはおしゃれなカフェがいくつかあります。



④ konak

イズミルとのシンボルである時計台があるところです。駅の近くにとっても大きなバザールがあり、可愛い雑貨や安価な生活用品を買うことができます。バザールの中には、私がトルコ料理で一番好きなマニサケバブのお店があります。マニサケバブはマニサという町発祥の料理で、パンの上に牛と羊のひき肉の合い挽きを棒状にして焼いたケバブが乗っており、それをトマトソースとヨーグルトにつけて食べます。お肉がボリュームでジューシーで一度食べると忘れられないぐらいおいしいです。



マニサケバブ ←

⑤ konak/alsancak

イズミルには独立戦争やその後起こった大規模火災により当時の建物がほとんど残っていませんが、アルサンジャックには古い町並みが残っているため、当時の建築物を見ることができます。いつも多くの観光客で賑わっており、ショッピングを楽しむこともできます。ここにはイズミル発のbombaというサクサクした白い生地の中にとろり溶けた大量のチョコが詰まったお菓子があり、ここにくると絶対にこのお菓子を買ってしまうほどおいしいくてやみつきになるお味です。

bomba ↓



時計台 ←



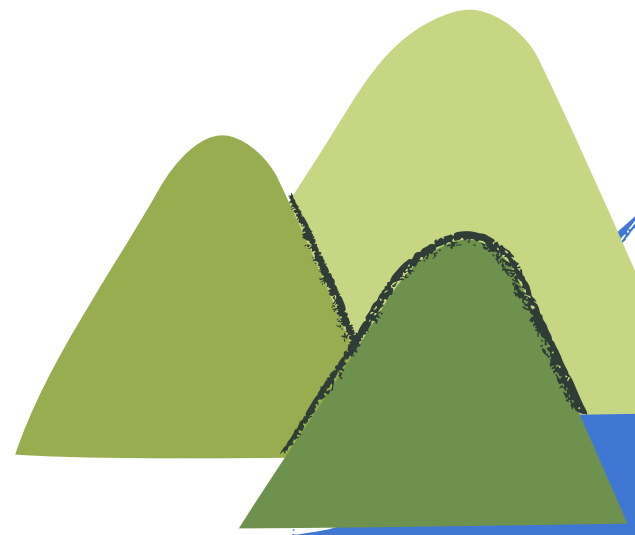
ESN

ESNとは現地学生と留学生が交流するグループのことで、留学生はこのメンバーとなり現地学生が企画するイベントに参加して他国の留学生や現地学生と交流することができます。学校が始まる前の2週間は、welcome weekとして現地学生によりほぼ毎日のようにイベントが企画されており、そこでイズミル内を観光したり友人を作ることができました。学校が始まってからも毎週のようにイベントを開催してくれ、イベントでなくても遊びに誘ってくれたりとてもありがたい存在です。また留学生一人ひとりに日常生活の手助けをしてくれる現地学生がつく「バディ制度」があるので、困ったことが合ってもすぐに相談できます。ESNのメンバーと会話するなかで、政治や経済、歴史の話になることが多々あり、いかに自分がそれらに対する知識が不足しているか、また自分の英語力のなさを痛感しました。彼らの会話についていけないことが沢山あり、悔しい思いをする日々ですが、経験豊富な尊敬できる彼らと対等に話せるよう、努力していきたいと思います。一か月の思い出の写真を載せます↓



ephesus

hikig with 犬



party



pamukkale

